

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 夏休み号

令和5年7月20日（木）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦



安全で楽しく 有意義な夏休みを



梅雨明けも間近となり、夏空がまぶしく輝くころとなりましたが、保護者や地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、いよいよ明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。今年の夏休みは、7月21日（金）から8月30日（水）までの41日間です。子どもたちには、長期間の夏休みだからこそできることにたくさんチャレンジしてほしいと思っています。自然とのふれあい、ものづくり、調査・研究、読書、学習の振り返り、地域行事への参加など、様々な体験や活動を通して、子どもたちは、想像力をかき立てながら、心身ともに大きく成長することができます。

一方で、心配されることは、交通事故と水の事故です。毎年、全国のどこかで、小学生や中学生の痛ましい事故が発生しています。個別面談でも、夏休みの過ごし方については、各担任からお話しさせていただいておりますが、改めてご家庭でも、規則正しい生活を心がけ、安全で有意義な夏休みを過ごすことができるよう、お子様への働きかけをお願いいたします。8月31日（木）に、子どもたちが、たくさんの思い出とともに、元気いっぱいに登校してくることを、教職員一同、心より願っております。

◆◆◆「着衣泳」を学習しました◆◆◆

夏休み中は、海水浴や川遊びなどのレジャーを楽しむご家庭も多いと思いますが、一番心配なことは、水の事故です。万が一の場合に備えて、体育の授業で「着衣泳」の学習を行いました。水の中に落ちて溺れそうになったら、服や靴は脱がず、『浮いて待つ』ことが、自分で命を守るためには、何よりも重要であることを学びました。

浮いてさえいれば、誰かが助けに来てくれます。無理して泳ぐ必要はありません。もしものときは、決してあわてず、全身の力をぬいて、とにかく浮いていて、助けに来てくれるのを待つようにしましょう。

